

一般社団法人日本医療薬学会
平成 28 年度第 5 回定例理事会 議事録

一．開催日時：平成 28 年 10 月 4 日（火） 13 時 ～ 16 時 50 分

二．開催場所：日本医療薬学会会議室

三．出席者

会 頭：佐々木 均

副会頭：井関 健、奥田 真弘

理 事：伊藤 清美、大谷 壽一、崔 吉道、佐藤 淳子、千堂 年昭、
武田 泰生、峯村 純子、山田 清文、脇山 尚樹

監 事：大石 了三、安原 真人、山元 俊憲

陪席者

顧 問：木平 健治

事務局：星 隆弘

欠席者

副会長：山田 安彦

理 事：青山 隆夫、出石 啓治、川上 純一、濱 敏弘、松原 和夫、
宮崎 長一郎、望月 眞弓

顧 問：五十嵐 邦彦、山本 信夫

四．議長：佐々木 均

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 12 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1. 平成 28 年度第 4 回定例理事会議事録の確認

議長より、本年 8 月 25 日に開催された平成 28 年度第 4 回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。続いて、前回理事会から昨日までに開催された各委員会等の会務状況が報告された。

2. 第 8 回臨時社員総会議事録の確認

議長より、本年 9 月 18 日に開催された第 8 回臨時社員総会議事録を基に議事内容の確認が行われ、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。

3. 協議事項

(1) 各委員会委員の追加委嘱

1) 出版委員会

峯村理事より、出版委員会で取り組む「病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法」の改訂作業に際して、新たに大谷道輝氏、木村健氏、寺田智祐氏、野田幸裕氏、三浦昌朋氏の 5 名を追加委嘱することが説明された。協議した結果、本件は了承され、10 月 1 日付けで委嘱することとなった。

2) フレッシュャーズ・カンファランス企画小委員会

大谷理事より、大学教員及び学生によるシンポジウムの開催検討 WG を改編し、新たに企画・シンポジウム委員会の下部組織として「フレッシュャーズ・カンファランス企画小委員会」を組織し、同 WG の 4 名の委員に桂敏也氏、中村敏明氏の 2 名を加えた 6 名を編成することが説明された。協議した結果、本件は了承され、10 月 1 日付けで委嘱することとなった。

3) 医療薬学学術委員会

山田(清)理事より、前回の理事会において医療薬学学術委員会に保険薬局所属者を加える方針となったことを受け、新たに鹿村恵明氏を加えることが説明された。協議した結果、本件は了承され、10 月 1 日付けで委嘱することとなった。

4) 年会あり方検討委員会

議長より、年会あり方検討委員会の構成委員を見直し、財務委員長との交代に伴い山田(清)財務委員長が就任すること、また第 23 回年会長に代わり第 27 回年会長の 大森栄氏の 2 名を加えた形で運営することが説明された。

5) 新たな表彰制度の設置検討 WG

井関副会頭より、本年第 3 回定例理事会で出された意見を受け、既存の各表彰制度の位置づけを再検証すると共に、新たなカテゴリーの表彰制度の創設を含めた表彰制度全体のあり方を検討する WG の設置方針が説明された。協議した結果、本方針は了承され、今後、同 WG を編成して協議することとなった。

(2) 第 27 回医療薬学会年会に係る修正収支予算案

議長より、第 27 回年会の収支予算案について、再協議に至った経緯と修正案に係る説明があった。前回の理事会において、大森第 27 回年会長より、第 25 回年会の参加者数が 9 千人を超え、第 26 回年会では第 25 回と同程度の事前参加登録があったことより、第 27 回年会（千葉市）で当初見込んでいた参加者数及び確保している会場の座席数が少ないと考えられるため、会場の追加確保に努めること、それに伴い支出が大きくなることより、参加費の改訂を含めた収支予算の見直しに係る相談

があった。協議した結果、参加費は現状を維持し会場を追加する形で収支予算案を修正検討することが了承され、今回、当該修正案が提示された経緯が説明された。本案について協議した結果、会場の追加借用費に充当するための収入として積算された参加費・参加数の設定が大きく、再検討を求める意見があり、本案は再修正されることとなった。

また、コンベンション会社の選定時に、年会の収支に係る見積もりの提示を受けることより、その時点から本学会の財務委員長等が関わり合いを持つことが確認された。

(3) 学生の年会費及び年会参加費の見直し

奥田副会頭より、学生会員の増加対策の一環として、学生会員の会費及び年会参加費の見直し及び会員細則の改訂に係る説明があった。次年度より開催するフレッシュャーズ・カンファランスや年会への学生の参画を促進させ、学生を含めた若年層への活動支援を行う。また、卒業又は修了後、正会員への移行に繋げるため、学生会員費を 5,000 円/年から 2,000 円/年に変更する提案があった。また、学生の年会参加費の改訂についても同様の低減化に係る提案があった。協議した結果、学生会員の年会費の改訂については了承され、併せて本日付で会員細則を改訂することとなった。なお、年会参加費については、年会に係る討議を行う年会あり方検討委員会で協議することとなった。また、学生である証明や卒業時期の掌握のため、所属講座の教職員の証明をもらうことなどに係る意見があり、協議した結果、了承された。

(4) 役員候補者選出規程

千堂理事より、役員候補者選出規程の改正案として、現行の同規程で定める役員の任期（選挙選出理事及び監事の再任制限）に関する規定を削除し、新たに選挙選出理事候補者及び監事候補者の立候補資格（立候補制限）として、連続 3 期を務めた理事及び監事が同一種別の選挙に立候補することができないことを規定した。ただし、第 1 期目の学会頭職を務める理事には、当該立候補制限を適用せず次期理事候補者選挙に立候補できる規定に変更することが説明された。協議した結果、本改正案は了承され、本日付で施行された。

(5) 「病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法」の出版費用等

峯村理事より、本理事会で継続して協議されている「病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法」の改訂出版について、出版委員会で協議した意見が説明された。本書の初版時に手当てされた編集者及び執筆者への謝金額が今回の改訂作業では一層安価になるため、各者の執筆意欲に影響を及ぼしかねないことより、当初見込んでいた本学会に入る印税を原資として謝金を割増払いしたい主旨の

提案があった。協議した結果、本件は了承された。なお、分冊数と印税収入の関係より、原則として分冊数は現行と同数の5分冊とし、出版時期は平成30年3月頃を目途として準備を進める方針が示された。また、出版社より電子書籍化の出版についても相談されたが、更なる確認事項があることより、本件については改めて協議することとした。

(6) 医療薬学教育セミナーの開催方針

伊藤理事より、医療薬学教育委員会が企画する「第1回医療薬学教育セミナー」の開催方針として、魅力のあるプログラムを編成し多くの参加者が得られるような企画にすること及び次の概要が説明された。

- ・サブタイトル：臨床研究成果を論文にするために
- ・開催日時：平成29年4月16日（日） 10時～16時程度を見込む
- ・会場：東京都内の大学
- ・主な内容：倫理指針や統計学などの基礎的な解説、医療薬学編集委員や論文賞受賞著者による論文作成上の実例紹介など

本件について協議した結果、主旨及び計画が了承された。ただし、参加費用については、初回ということもあり、多くの方々に参加してもらえる参加費を設定するよう意見があった。

(7) 第27回医療薬学会年会への演題登録

議長より、先月開催した社員総会において承認された平成29年度の事業計画において、本学会の各委員会が企画した年会のシンポジウムへの応募にあたり、企画シンポジウム委員会が窓口となってシンポジウムの登録を受け付け年会長に進言することになったため、今後、当該登録の受け付けを進める事が説明された。

(8) 前年度会費の遡及に係る嘆願

議長より、前年度会費の遡及の嘆願2件について説明があり、協議した結果、全ての嘆願を了承することとなった。

(9) 第9回定時社員総会の開催日程

議長より、第9回定時社員総会及び第2回定例理事会を日本薬学会第137年会（仙台）の第1日目に合わせて平成29年3月24日（金）に開催することが説明された。なお、理事会は14時から15時45分まで、続いて社員総会を16時より40分間程度にわたり開催する。

(10) その他

議長より、本学会が実施する薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験の合否判定については、経年的な比較検証が実施され適切性を確認しているが、生涯学習達

成度確認試験の合否判定基準にも使用されるため、対外的に説明ができる判定基準の検討が言及された。

4. 報告事項

(1) 後援依頼

議長より、次の2件の後援を承諾回答したことが報告された。

- ・「第13回日本癌治療学会アップデート教育コース」（日本癌治療学会）
- ・「第21回オンコロジーセミナー」（NPO法人がん医療研修機構）

(2) 各委員会報告

- ・第2回国際交流委員会

議長より、国際交流委員会の議事概要が紹介された。

(3) その他

1) 専門・認定薬剤師制度の現状と課題

安原監事より、日本学術会議薬学委員会チーム医療における薬剤師の職能とキャリアパス分科会及び日本薬学会が主催するシンポジウム「専門・認定薬剤師制度の現状と課題」を10月26日（水）の午後に日本学術会議講堂で開催することが報告された。

2) 日本臨床疫学会発足記念講演

議長より、日本臨床疫学会が主催する発足記念講演会が12月18日（日）に東京大学弥生講堂で開催されることが報告された。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は16時30分に閉会を宣言し、解散した。

上記議事概要及びその結果を明確にするため、会頭及び監事は次に記名押印する。

平成 年 月 日

一般社団法人日本医療薬学会

会 頭印

監 事印

監 事印

監 事印